



4

狩猟&ジビエ体験 (IN 奥日光) vol. 12.13

奥日光のシカによる環境破壊の実態や、狩猟、有害鳥獣駆除と自然保護の関係を地元ハンターや対策実施隊員の講演。狩猟の民「マタギ」と奥日光のつながり、頭数管理の為に捕獲した鹿の解体、ジビエ体験を通じて環境保全への理解を深めていただくことが狙いのイベントです。



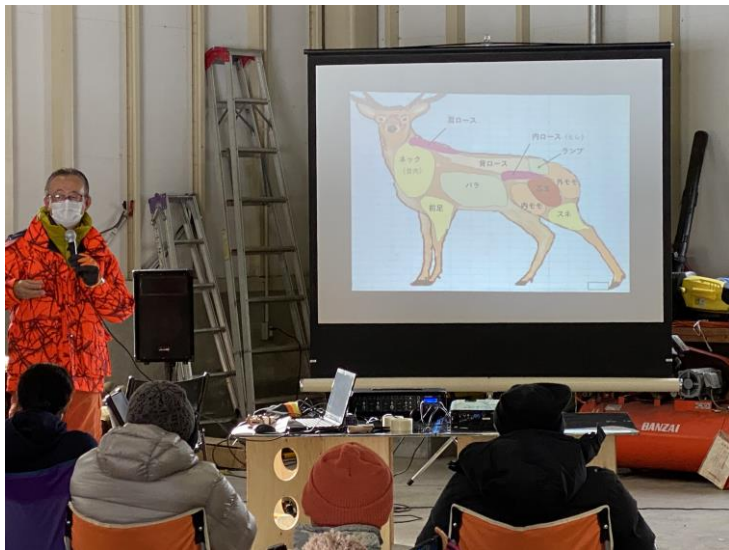
各種レクチャー

- ・奥日光の鹿の現状 (日光自然博物館 鳥獣被害対策実施隊員)
- ・日光地域の狩猟 (猟友会 前日光地区長 ハンター歴58年)
- ・日光とマタギ (日光自然博物館 栃木県猟友会射撃指導員)
- ・Q&A 狩猟、etc.



ベテランハンターによる、ニホンジカ、イノシシ解体デモ

(奥日光を猟場として50年以上のお二人の息の合った解体作業。雪山現場解体を想定した剥皮と前足、モモ、ロースの大バラシ作業を間近で観察していただきます。)



鹿の部位、狩猟刀の取扱解説

- ・ロース、内ロース、外モモ、芯玉、スネ等の部位の説明です。皆さん、これから捌くので真剣に聞いています。
- ・マタギで有名な秋田県鹿角市の野鍛冶に特注したサバキナガサを使用します。片刃、両刃、黒焼、磨きなど5種10本をお試しいただけます。ご自分のナイフの持込みも可能です。モーラやラブレスをお使いの方も！



ジビエ体験（昼食）

鹿肉を使ったシチューとパン、ドリップコーヒーをご用意しております。お飲み物をご自身でご用意ください。（先の原発事故の影響が懸念されるため、衛生的に処理されたエゾシカ肉を使用）



解体体験 実際に剥皮、解体作業を行っていただきます。



食育 女性、お子様の参加も多数！ 獣から肉に変わっていく様を見ることは貴重な食育の機会にも。



お持ち帰り この日は三段角三対と解体した肉、皮を自家消費としてお持ち帰りいただきました。（捕獲地により持ち帰りが出来ない場合があります。）
保冷バックやクーラーボックスがあると便利です。

実施詳細

場 所 : 赤沼車庫(戦場ヶ原手前赤沼駐車場隣接)

駐車可、赤沼駐車場は**冬季試験開放中**です。

日 時 : 令和6年2月25日(日)、3月23日(土) 10時~15時 目途

参加費 : 5,500円 (コーヒー、鹿シチュー、パン付き)

募 集 : 20名様 (先着申込順) 最少催行人員10名

申 込 : 日光自然博物館 TEL0288-55-0880

その他 : ・十分な暖房設備がありません、防寒対策を万全に！

・汚れてもよい服装で！

・刃物を使います。安全な取り扱い方をご案内しますが、防刃グローブをご用意いただくと安心です。(衛生の為のニトリルグローブの用意はございます。)

・ドリップコーヒーは休憩、昼食時お代わり自由です。カップ・タンブラーは各自ご用意ください。(SDGsにご協力を！)

・半屋内(車庫)での開催となります。雨天決行です。

・解体体験に使用する個体は、有害駆除で捕獲したニホンジカ、猪です。

・感染症対策の為、検温(37.5℃以下)、手指の消毒、マスク等の着用による飛沫感染防止にご協力ください。

主 催 : 日光自然博物館

協 力 : 猟友会日光支部、自然公園財団日光支部(湯元ビジターセンター)

レストランメープル、猟友会西方支部

お問い合わせ: 日光自然博物館 担当 業務部

TEL 0288-55-0880 / FAX 0288-55-0850

www.nikko-nsm.co.jp